

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

自宅から通える範囲にあり、国家試験合格率が高いからである。
また、総合大学であり、他学部の人との交流があるため大学生活を充実したものにできると思ったからである。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

高校の春頃に私立大学薬学部の受験を考えました。1学期は、薬学部の受験で必須科目である化学の勉強を中心にしていました。学校で使っていた問題集の簡単なレベルの問題をくり返し解きました。

〔夏休み〕

夏休みは化学と英語の勉強だけをしました。化学は1学期に引き続き、問題集をくり返し、できなかった問題は次の日にもう一度解くようにしていました。
英語は、熟語、語法、単語をくり返しやり、何度も覚えられやすいものはノートに書き、毎日見直すようにしていました。

〔2学期～入試直前〕

夏休みが終わってからは、同志社女子大学の公募推薦入試に向けて過去問を解き始めました。公募推薦入試に向けて化学を早くから取り組んでいたのが公募推薦後は、化学ⅠA、ⅡBの勉強を始めました。一般入試の2ヶ月くらい前から過去問を解き始めました。過去問を1回目解いた後、できなかったところの解き方をノートに書き残しておき、2回目、3回目と解き、またできなかった部分に見直しするようにしていました。また、時間配分を考えるとやりやすいように取り組みました。過去問を初めて解いた時、半分もできなかったも2回目、3回目やるといって、傾向がだんだんわかるようになってくるので過去問を何度もやるのは大切だと思いました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私が健康面で注意したのは、夜遅くまで起きて勉強せよ、早めに寝るようにしていたことです。また、毎日3食きちんと食べるようにしていました。入試直前は、生ものは控えていました。
入試当日、頭が痛くなったりするところがあるかもしれないので薬を準備しておくといいと思います。スマートフォンは「リセニク」に置いて、勉強の途中で使ってしまうことがないようにしていました。テレビは見たいものは録画して短い時間で見るようにしていました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

私は模試の結果が最後まで思うようにならず、入試本番まで不安でいっぱいでした。しかし過去問を何度も解き、傾向を掴みくり返したのが良かったと思います。
受験を終えて、しんどい時もあったけれど最後まで諦めなくて良かったなあと思っています。受験生のみなさん、後悔のないように最後まで頑張ってください。応援しています。